

# 住宅用火災警報器を設置しましょう！

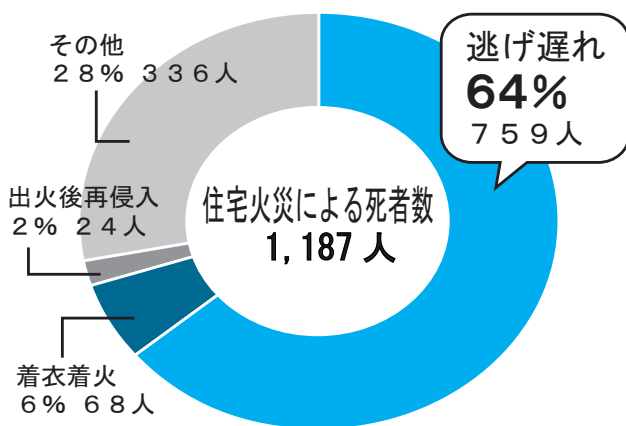
既存の住宅は平成 23 年 5 月末まで猶予期間があります。

消防法と朝来市火災予防条例に基づき、市内すべての住宅に火災警報器の設置が義務付けられました。火災を早く発見し、早く避難することにより、ひとりでも多くの命が助かる可能性が高くなります。あなたの住まいと生命を守るために住宅用火災警報器を設置しましょう。

## 住宅火災の実態

「逃げ遅れ」により多くの方が亡くなっています！

住宅火災で死に至った原因

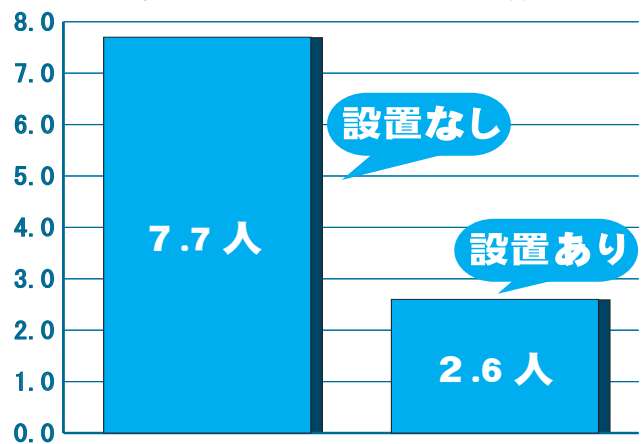


(消防庁調べ：平成 18 年中／放火自殺等を除く)

## 設置による効果

住宅用火災警報器等の設置により  
3分の1程度に減少しています！

住宅用火災警報器等の設置の有無で見た  
住宅火災 100 件当たりの死者数



(消防庁調べ：平成 18 年中／放火自殺等を除く)

### 事例 1 ふとんが燃え出して！



寝たばこにより火災が発生し、警報器が煙を感知しました。警報音で本人が目を覚まし、ふとんに水を掛けて消火したので、大事に至りませんでした。

### 事例 2 天ぷら油が燃え出して！



天ぷら油を加熱したまま、その場を離れたため、鍋から火が上がり警報器が煙を感知しました。警報音に気付いた居住者が、初期消火と 119 番通報を行いました。